

# 明日に向かって

## ともに創る

66

大船渡市長 戸田公明

大雨被害が多くなってきました。

天気予報に留意しましょう！

ここ数年、「平成27年9月関東・東北豪雨」「平成28年台風10号」、そして本年7月の「九州北部豪雨」のように豪雨による被害が大きく目立ってきました。被害状況がテレビ・新聞などで報道されましたので、皆さんの記憶も鮮明のことと思います。

多くの皆様のご協力をお願いいたします。

本市をはじめ国内各地には同様の地形が各所にありますので、豪雨による同様の大災害はどこでも発生し得るのではないかと考えさせられます。

このようなことから、昨年8月の「平成28年台風10号」による被害を受け、国においては避難勧告等の発令の仕方を、わかりやすいように変更しました。

・避難準備情報→避難準備  
・高齢者等避難開始  
・避難勧告→避難勧告  
・避難指示→避難指示(緊急)

7月7日には、直ちに日本赤十字社岩手県支部大船渡市地区として「九州北部豪雨」に対する義援金募集活動(市の施設内に募金箱を設置)を始めましたので、

山中の降雨状況をいち早く

入手し下流に被害が及ぶ前に避難勧告等を発令することは、それだけ難しいことだと考えさせられます。

このような事例を見るにつけ、豪雨についても行政と住民の皆さんによる双方の対応が必要です。行政としては、たとえ避難勧告等の発令が無駄になることがあつたとしても、発令をためらい避難が遅れることで助かる命を落としてしまうことは絶対に避けなければなりませんので、タイムリーに発令の決断をするよう心掛けてまいります。一方で、

住民の皆さんとしても、行政からの避難勧告等の発令前であっても、豪雨の異常さを感じ取りながらいち早く避難行動を起こすべく、常日頃より避難場所とそこまでの避難ルートを確認しておくことも大切です。

地球温暖化による厳しい気候の時代が既に始まっています。行政による早期の避難勧告等の発令は元よりですが、自分の身は自分で守る市民意識もますます重要になってきていますのでご理解いただきますようお願いいたします。

地球温暖化による厳しい気候の時代が既に始まっています。行政による早期の避難勧告等の発令は元よりですが、自分の身は自分で守る市民意識もますます重要になってきていますのでご理解いただきますようお願いいたします。

地球温暖化による厳しい気候の時代が既に始まっています。行政による早期の避難勧告等の発令は元よりですが、自分の身は自分で守る市民意識もますます重要になってきていますのでご理解いただきますようお願いいたします。

## 大船渡伝道師養成講座 「みんなでリアスホールを取材しよう！」

市では、市民投稿型サイト「おおふなこポータル」へ市民目線で良質な情報を提供する伝道師を養成するため、座学と実践研修を交えた「大船渡伝道師養成講座」を開催します。ぜひ、ご参加ください。

▷期日＝8月18日(金)

▷時間＝午前10時～正午

▷会場＝リアスホール和室ほか

▷対象＝どなたでも

▷内容

①座学＝和室(30分程度)

- ・「おおふなこポータル」サイトについて
- ・スマートフォン写真術、投稿文書の書き方について

②取材＝ホール、舞台裏、マルチスペース

(60分程度)

- ・施設内、普段入ることができないホール舞台裏などの取材

③投稿＝和室(30分程度)

- ・「おおふなこポータル」サイトへの記事投稿、アンケートの記入など

▷持参するもの＝スマートフォン

▷受講料＝無料

▷定員＝10～15人程度

▷申込締切日＝8月16日(水)

▷申込先／問い合わせ先

- ・アローリンクス(株)(☎28018)
- ・新産業戦略室【企画調整課内(☎内線229)】

